

# 国際センター通信

*Japan Society of Civil Engineers International Activities Center*

## 📖 国際センター通信とは？

土木学会の国際活動や技術交流に関する情報を集め、国内外の読者の皆さまにお届けしています。

- ・国際センターおよび海外支部（英国、韓国、台湾、トルコほか全9分会）の最新の取り組み
- ・ACECC（アジア土木学協会連合協議会）の活動状況
- ・31の調査研究委員会による国際的な技術交流
- ・国内外で活躍する技術者・研究者の紹介
- ・注目のプロジェクトや最先端の土木技術のご紹介 など

「今」の土木界を、わかりやすく・楽しくお伝えしていきます。  
ぜひ皆さまからのご感想やリクエストもお寄せください！

## 🔗 今号（No.150）の注目記事

- 1) 情報 WG の今後の展望
- 2) 第2回 土木技術のグローバル化セミナー開催報告
- 3) 留学生向け企業説明会開催報告

## ⚠️ 前号の掲載内容に関するお詫びとご案内

前号にて「若手の意欲向上のための経験者及び学生への意識調査報告」の結果を今号にて公表するとお伝えいたしましたが、諸事情により学会誌への掲載へと変更させていただきました。何卒ご了承ください。

## 📖 学会誌のご購読・お申し込みはこちら

- 学会誌の定期購読や会員特典の詳細は、[土木学会入会案内](#)をご覧ください。
- 入会して毎月学会誌を受け取る方は、[入会専用ページ（WEB申込）](#)からお手続きいただけます。

## 巻頭言

### 「情報 WG の今後の展望」



橋本 勝文

(情報 WG リーダー/北海道大学)

土木学会国際センター情報グループは、国際センター通信の発行、学会誌への情報掲載（国際センターだより）、ホームページや SNS を通じた広範な発信を軸として、土木学会の国際活動を国内外に伝える役割を担ってきた。特に、国際センターおよび海外支部（英国、韓国、台湾、トルコほか全 9 分会）、アジア土木学協会連合協議会（ACECC）をはじめとする国際組織、各調査研究委員会、海外で活躍する技術者・研究者、国際的なプロジェクトや先端技術に関する情報を継続的に収集・発信してきたことは、学会内外の関係者をつなぐ基盤として大きな意義を有している。

今後は、これまで蓄積してきた情報発信機能を発展させ、工学および学術分野、産官学の場において多様化する活動の分断された情報の集約と共有にとどまらず、土木分野の国際的な知の循環を促進するプラットフォームとしての機能を強化していくことが重要である。

上述のこれまでの経緯とこれからの期待に対して、以下の三点の情報のコアバリューに着眼した国際センターの役割を明瞭にしながら、機能を活性化させる必要がある。

第一に(アクセス性)、国内外の会員が必要とする情報をよりの確に届けるため、学生・実務者・研究者、あるいは、産・官・学など、対象ごとに関心および必要な情報を情報の発信者および受信者の属性に応じたアクセスしやすい質と内容で提供する。

第二に(グローバル性)、土木技術や研究成果を国際社会へ効果的に伝える必要がある。特に、防災・減災、維持管理、人材育成など、日本が先導する分野においては、国際的な課題解決に資する知見として積極的に取り扱う。

第三に(オープン性)、記事投稿や意見募集、海外分会・若手会員との連携を通じて、多分野・多領域の会員が参加する仕組みを整備する。さらに、過去の記事や活動記録への検索性を高めることで、国際活動の知的資産を次世代に継承することも重要である。

以上を踏まえ、情報グループの今後の展望は、国際活動を「記録して、伝える」だけの段階から、我が国の土木工学に関わる全ての人々と活動が持つ価値を「繋ぎ、広げ、生み出す」段階へ移行することにある。土木学会が有する多様な国際ネットワークと専門知を可視化し、国内外の技術者・研究者・学生が相互に共有・共創する場を形成する。これにより、情報グループが土木学会の国際化を支える中核的な機能を一層強化して、社会に有益な価値を提供する役割に対する期待に応えなければならない。

#### コアバリュー



## 第2回 土木技術のグローバル化 セミナー開催報告



鈴木 勝

(国際センタープロジェクト WG 長/  
日建工学株式会社)

公益社団法人土木学会国際センターでは、今年度より「土木技術のグローバル化セミナー」をシリーズ化しております。

4月21日に第2回として名古屋に本部を置く、国連地域開発センター（UNCRD）をお招きし、「SDGsと地球規模課題への取り組み」と題したハイブリッドセミナーを開催いたしました。

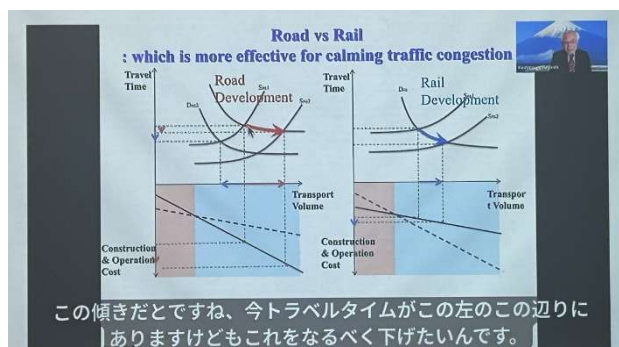
これまで、国際センターでは国際的なプロジェクトや、海外で活躍する日本人に焦点をあてた企画が多く、こうした土木学会以外の団体や組織の活動を正面から取り上げた企画は少なかったように思います。そのため、どれくらいの参加が得られるか少し不安な気持ちでフライヤーを公開しましたが、反応は全く逆で、当日は対面・オンラインを合わせて約630名の方々にご参加いただきました。学会主催のセミナーで参加者が600人を超えることは、私の経験でもまれであり、まずは規模的には大成功であったと自負しています。あまりの参加の多さに、関係者に参加呼びかけを行ったか聞いたところ、誰も行ってないとのこと、これもある意味驚きでありました。

### ■ セミナー内容と主な講演要旨

セミナーでは前国土交通省大臣官房参事官の八尾様のごあいさつの後、ローマクラブ日本代表の林良嗣先生のビデオメッセージをいただきました。

あいにくアルゼンチン出張中とのことで事前収録となりましたが、「成長の限界」や「人新世」という概念を背景に、資源制約や環境負荷の増大を踏まえた社会の転換の必要性が示されました。

特に、従来の経済成長や効率性を重視した発展モデルから、人々の生活の質（QOL）を重視した地域開発への転換、さらにはカーボンニュートラル実現に向けたインフラ・交通・ライフスタイルの抜本的改革の重要性が強調されました。なお、ビデオ内ではローマクラブの活動自体もご紹介いただき、休憩時間を活用して参加者の皆様と有意義な情報共有ができたことも大きな収穫です。



林先生ビデオメッセージ

続いて名古屋大学の谷川先生からは、SDGs達成に向けた大学の役割として、国際開発分野における教育・研究拠点の形成や、多様な分野を横断した人材育成の取り組みが紹介され、持続可能な社会を支える「知の基盤」としての役割と、教育と実務の橋渡しの重要性が示されました。

さらに国連地域開発センター（UNCRD）の村田所長からは、同センターが1971年の設立以来、アジア太平洋地域を中心に推進してきた地域開発支援の実績が紹介されました。

環境的に持続可能な交通（EST）、循環経済・3R、水災害リスク軽減など、SDGsに直結する具体的な国際協力の枠組みが示されるとともに、地域に根差した「ローカル SDGs」推進の重要性が語られました。



## プロジェクト

UNCRDは、持続可能な地域開発という枠組みの中でSDGsの推進を加速化するため、

- 循環経済（サーキュラーエコノミー） / 3R（リユース、リデュース、リサイクル）
- 環境的に持続可能な交通（EST）
- 質の高いインフラ
- 災害リスク軽減と水
- スマートシティ
- ローカルSDGs

の6つの側面から統合的に事業を展開



## 国連地域開発センターの紹介

最後にダイヤコンサルタントの森田様からは、SDGsの普及が進む一方で進捗評価が十分でない現状を踏まえ、自治体単位での達成度指標の可視化や、データに基づく客観的なモニタリング手法の必要性が提起され、実務に直結する具体的な評価手法が紹介されました。

SDGsをテーマとしたこれらの講演は大変わかりやすく、また国連地域開発センターの活動のご紹介もあり、今回のセミナーは内容的にも「大成功」だったと思います。



## パネルディスカッションの様子

今回の企画は、土木プロジェクトや技術と全く異なる観点のものでしたが、これをもう少し深堀すると、これだけ情報が多い時代、プロジェクトや技術に関する情報は個人ベースで得ることができるため、多くの皆様はこれまでの「土木学会の枠組み」には取まらない、新たな情報を得ることに興味に移っているのかなと想像します。

土木学会国際センタープロジェクトWGでは、この他に「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」シンポジウム、「インフラ国際貢献・国際協力アーカイブス」の公開をおこなっております。

今回のセミナーの教訓を得て、WGとしての活動をさらに充実させていきたいと思っております。最後になりますが、ご参加いただいた皆様、そして開催にあたりご尽力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 会場の聴講者

.....  
 【記：鈴木 勝（国際センタープロジェクトWG長）  
 遠藤 和重（国際センタープロジェクトWG）  
 .....

## 留学生向け企業説明会開催報告

(Joint Company Information Session 2026  
for International Students studying  
Civil Engineering)



澤村 康生

(京都大学大学院/留学生ワーキング  
グループ リーダー)

5月23日、土木学会国際センター留学生・外国人技術者グループでは、「Joint Company Information Session 2026 for International Students studying Civil Engineering」をオンラインにて開催した。

本説明会は、土木工学を学ぶ留学生と日本企業との情報交換の場を提供することを目的としている。現在、多くの留学生が日本の大学で土木工学を学んでおり、卒業後に日本で就職することを希望する学生も少なくない。

一方で、各大学には就職支援やリクルートの仕組みが整備されているものの、その主な対象は日本人学生であり、留学生にとって、日本企業の事業内容、職種、キャリアパス、採用プロセスに関する情報を十分に得ることは必ずしも容易ではない。このような背景から、本グループでは2014年より、留学生を対象とした合同企業説明会を継続的に開催してきた。

今年度の説明会には、全国の大学・高専から100名を超える留学生が参加し、日本での就職やキャリア

形成に対する関心の高さがうかがわれた。企業側からは、建設会社、建設コンサルタント、高速道路会社など、土木分野に関わる12社にご参加いただいた。各社からは、企業概要、具体的な業務内容、留学生の採用や入社後のキャリア形成について説明があり、参加学生はZoomのブレイクアウトルームを自由に移動しながら、関心のある企業の説明を聞いた。

質疑応答では、仕事内容、必要な日本語能力、入社後の研修制度、将来のキャリアなどについて、学生から多くの質問が寄せられた。

また、開会セッションでは、日本で学び、現在は日本企業で活躍している2名の先輩より、留学生活、就職活動、入社後の経験についてご講演いただいた。留学生にとって、身近な先輩の具体的な体験談は、将来の進路を考えるうえで大変貴重な機会となった。さらに、企業セッション後には「Senpai Session」を設け、学生がより気軽に質問できる時間とした。

本説明会の開催にあたり、ご多忙の中ご参加いただいた企業の皆様、貴重な経験を共有してくださった先輩方、そして準備・運営にご尽力いただいた国際センター事務局の澁谷様、芦田様、那須様に、心より御礼申し上げます。本説明会が、留学生の日本でのキャリア形成を支援するとともに、日本の土木分野における国際的な人材交流の促進につながることを期待している。



.....

記：澤村 康生

(留学生ワーキンググループ リーダー)

.....

## お知らせ

### ■ 国際・委員会ニュース

#### ◆ 令和 8 年度全国大会 第 81 回年次学術講演会

▶ 詳細 : <https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/>

#### ◆ IABSE ニュースレター Newsletter June 2026

▶ 詳細 : <https://www.iabse.org/Newsletter>

#### ◆ ASCE magazine "Civil Engineering Source"

▶ 詳細 : <https://www.asce.org/publications-and-news/civil-engineering-source>

#### ◆ 国際センター通信 No.150

▶ 日本語 : [https://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac\\_news\\_150](https://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_news_150)

▶ 英語 : <https://www.jsce-int.org/pub/iacnews/150>

### ■ イベント、セミナー情報、案内等

#### ◆ 第 32 回 Global ISSA Construction Conference

・日時 : 2026 年 7 月 2-3 日

・開催地 : キプロス・リマソール、キャロブ・ミル

▶ 詳細 : [www.issa-c-in-cyprus.com](http://www.issa-c-in-cyprus.com)

#### IABSE Congress Incheon 2026" Structural Engineering Towards Evolution and Hyper-Expansion"

・日時 : 2026 年 9 月 16-18 日

▶ 詳細 : [IABSE - Incheon 2026](https://www.iabse.org/Incheon2026)

#### ◆ IEEE International Conference on Electrical, Computer and Energy Technologies(ICECT 2026)

・日時 : 2026 年 10 月 15-17 日

・開催地 : インドネシア・バリ島

▶ 詳細 : <https://www.iceccme.com/2026>

◆2026年度 土木学会 全国大会 International Program (国際関連行事) の  
WEB サイトがオープンしました！

・日時：2026年8月31日-9月4日

・開催地：北海学園大学豊平キャンパス・北海商科大学・札幌市教育文化会館

▶詳細：<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/452>

## 投稿・寄稿の募集

本誌では、皆さまからの活動報告やコラム、研究紹介などのご寄稿を随時受け付けております。  
分量等は問いませんので、お気軽に土木学会事務局までご連絡ください。

~~~~~

・【送付先・問い合わせ】(公社)土木学会 国際センター：[iad@jsce.or.jp](mailto:iad@jsce.or.jp)

▶詳細：<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>

~~~~~

## 読者アンケート・ご意見募集

紙面へのご感想やご意見をお寄せいただけますと幸いです。

~~~~~

アンケートフォームはこちら▶ <https://forms.gle/M6UVUUqM37Ak6mDK7>

~~~~~

## 配信申込み

「国際センター通信」の配信申込みを受け付けております。

お申し込みいただくと、新号発行時にご登録のメールアドレスへ直接お届けします。

【申し込みフォーム】

◆日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>

◆英語版：<http://www.jsce-int.org/node/150>

## SNS・Web 情報

直近の国際センターの活動を紹介しています。

◆【土木学会 Web サイト（英語）】 <https://www.jsce-int.org/>

◆【土木学会 Web サイト（日本語）】 <https://www.jsce.or.jp/>

◆【国際センターWeb サイト】 <https://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

◆【Facebook】 [https://www.facebook.com/JSCE.en/?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/JSCE.en/?locale=ja_JP)

◆【YouTube】

[https://youtube.com/channel/UCGIs6DHzX\\_cGDmHUrRlKA?feature=shared](https://youtube.com/channel/UCGIs6DHzX_cGDmHUrRlKA?feature=shared)